

令和 6 年度教育課程特例校実施状況報告書（東かがわ市立引田小学校）

1 各学年の目標及び重点指導事項

学年	目標及び重点指導項目
1 年	◇英語の音声やリズムに親しみ、相手と主体的にコミュニケーションを取ることができる。 ・Phonics の学習を通して、アルファベット固有の音があることに気づかせる。 ・歌やゲームを通して、色や食べ物などの身近な物の英語の言い方に慣れ親しみ、英語での活動を楽しむことができるようにする。
2 年	◇英語の音声やリズムに慣れ親しみ、簡単なフレーズを使って相手と主体的にコミュニケーションを取ることができる。 ・Phonics の学習を通して、アルファベット固有の音があることに気づかせる。 ・歌やゲームを通して、動物やスポーツなどの身近な物の言い方に慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができるようにする。
3 年	◇アルファベット固有の音を意識し、より英語らしいリズムやイントネーションを使いながら相手と主体的にコミュニケーションを取ることができる。 ・Phonics の学習を通して、発音の違いや単語の意味について知ることができるようにする。 ・自分の欲しい物を伝える買い物の活動や、夢の時間割を伝える活動を通して、自分の考えや気持ちを簡単な英語を使って伝えることができるよう指導の充実を図る。
4 年	◇アルファベットの音をつないで簡単な単語を読んだり書いたりすることに慣れ親しみ、相手の話に反応しながら主体的にコミュニケーションを続けることができる。 ・Phonics の学習を通して、発音の違いや単語の意味について知ることができるようにする。 ・相手の行きたい場所まで道案内をする活動や、自分のできることを伝え合う活動を通して、相手に配慮しながら英語でやりとりをすることができるよう指導の充実を図る。
5 年	◇英語のセンテンスを読んだり書いたりするとともに、日常的な話題について、自分の考えを伝えたり、相手の質問に答えたりしながら主体的にコミュニケーションを続けることができる。 ・Phonics の学習を通して、短い単語を読んだり書いたりすることができるようにする。 ・身近な人を紹介する活動や、東かがわ市の魅力を伝える活動を通して、自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な質問に受け答えしたりすることができるよう指導の充実を図る。
6 年	◇英語の語順を意識してセンテンスを読んだり書いたりするとともに、異文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら主体的にコミュニケーションを続けることができる。 ・Phonics の学習を通して、短い単語を読んだり書いたりすることができるようにする。 ・世界の国の紹介や、自分の将来の夢について紹介する活動を通して、自分の考えが相手に伝わるように、内容を整理して伝えることができるよう指導の充実を図る。 ・相手との対話や、ALT による世界の国々の文化の紹介を通して、多種多様な考え方やものの見方を受け入れようとする態度を育てる。

2 成果と課題

○昨年度に引き続き、今年度も地域行事で外国の方を案内する、“もじゃこガイド隊”の活動を行った。今回は、自分たちが紹介したい地域の魅力を伝えるため、児童自らガイドルートを作成し、有名な場所や食べ物などについて紹介することができた。児童は、「外国人の方の国の話で盛り上がった」や「言い方がわからなかった所も、知っている単語を並べてなんとか説明できた」と手ごたえを感じているようで、事後アンケートの「また機会があれば外国人の方と話してみたいか」の項目では、全体の 97%が肯定的な回答であった。



○AI ドリルや児童用デジタル教科書などの ICT 機器を活用することで、児童が自分の課題に気づき、その課題を解決するために学習しようとするサイクルを少しずつ確立することができた。

●GTEC テストの結果より、短い英単語や文章について聞き取ることはできているが、単語や英文として“読むこと”については苦手意識を感じている児童が多い。

3 今後の取組

文の意味を理解させるために、まとまりのある文章をまずは聞き、その後、書かれた文章を読ませるというように段階的に読む活動も取り入れ、指導の充実を図りたいと考える。